

専攻の区分「鍼灸学」の修得単位の審査の基準の改正について

平成 30 年度より専攻の区分「鍼灸学」の修得単位の審査の基準を改正します。
改正後の審査基準による学位授与申請の受付は、平成 30 年度 4 月期からとなります。

専攻の区分	専攻分野の名称
39 鍼灸学	鍼灸学

鍼灸学は我が国の伝統医学であり、東洋医学独自の理論体系を骨格としているが、医療として適切に臨床実践するには現代西洋医学の基礎を理解し、鍼灸治療の適否の判断と治療効果の評価ができる能力（知識と技能）が求められる〔A群〕。また、鍼灸学を充実・発展させるためには関連する医療分野の基本的な知識を理解することが必要である〔B群〕。さらに医療人としての人間性と資質を身につけるためには東西両医学の医学教養関連科目を学修することが重要である〔関連科目〕。これらの科目を学修することによって鍼灸学における専門性と医療人としての人間性を涵養することができる。

● 修得すべき専門科目と関連科目の単位（62 単位以上）

専攻に係る授業科目の区分	専門科目（40 単位以上）	
	【A群】（36 単位以上） ○経絡経穴学に関する科目 ○鍼灸の理論に関する科目 ○東洋医学に関する概論的な科目 ○鍼灸基礎実習に関する科目 ○鍼灸臨床・実習に関する科目 ○基礎・臨床医学に関する科目 【B群】 ○社会福祉に関する科目 ○医用工学に関する科目 ○健康科学・スポーツ科学に関する科目 ○心理学に関する科目	
	関連科目（4 単位以上）	
	◇人類学・文化人類学に関する科目 ◇医療社会学に関する科目 ◇医史学に関する科目 ◇倫理学に関する科目 ◇東洋思想に関する科目 ◇情報科学に関する科目 ◇統合医療・補完代替医療に関する科目	

■ 専門科目の例 ■

【A群】

- 経絡経穴学に関する科目
経絡経穴概論、経絡経穴学、経穴学など
- 鍼灸の理論に関する科目
鍼理論、灸理論、鍼灸基礎理論、鍼灸手技理論など
- 東洋医学に関する概論的な科目
東洋医学概論、漢方概論など
- 鍼灸基礎実習に関する科目
鍼実技、灸実技、手技実習（あん摩・マッサージを除く）など
- 鍼灸臨床・実習に関する科目
東洋医学臨床論、鍼灸臨床実習、手技臨床実習（あん摩・マッサージを除く）、総合臨床実習など
- 基礎・臨床医学に関する科目
医学概論（関係法規、医療倫理学、社会保障制度及び職業倫理を含む）、解剖学、生理学、病理学、衛生学・公衆衛生学、病原微生物、免疫学、臨床薬理学、臨床医学総論、臨床医学各論、リハビリテーション医学（リハビリテーション概論、理学療法学、作業療法学を含む）、看護学など

【B群】

- 社会福祉に関する科目
社会福祉論、高齢者福祉、児童福祉論、障害者福祉論、介護学（介助を含む）など
- 医用工学に関する科目
医用工学概論、医用電子工学、医用画像工学、超音波医学など
- 健康科学・スポーツ科学に関する科目
健康科学、健康管理学、スポーツ運動学、スポーツ生理学など
- 心理学に関する科目
臨床心理学、老年心理学、児童心理学、心理測定法、カウンセリングなど